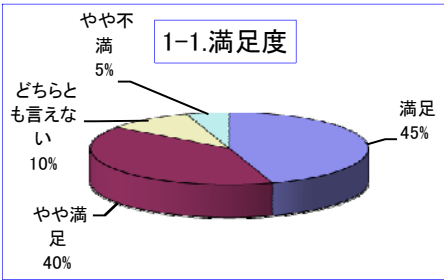


【第8回】
早稲田大学理工学部

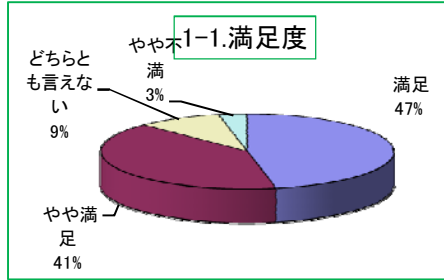
【第7回】
東芝研修センター

【第6回】
神奈川工科大学

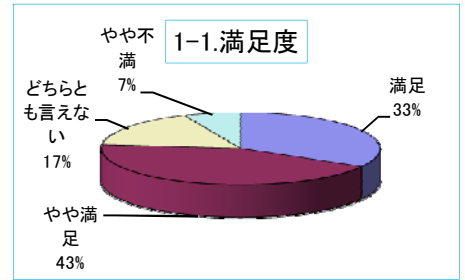
1. シンポジウムの満足度



1. シンポジウムの満足度



1. シンポジウムの満足度



満足度は昨年度とほとんど変わらず、「満足」「やや満足」を合わせて85%であった。

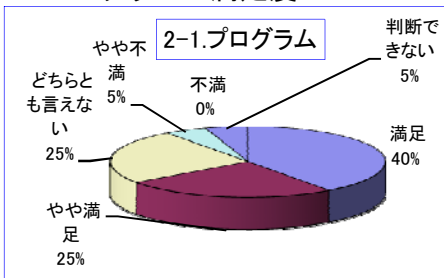
【満足】

- 1) 多くの方とコミュニケーションが取れた。TRIZの知見が広がった。元気づけられた。
- 2) 気づきを得られ+人脈が広がったので。(これは毎年のことなので、継続開催すること自体に価値大と感じます。)
- 3) TRIZに対する理解が深まった。新しい発見があった。
- 4) 今までの視点と異なる視点での発表を聞いたから
- 5) 自分の問題で次に行うべきことが明確になりました。
- 6) 実践されている方々の生の声(取り組みについて)を直接うかがえたので良かったと思います。

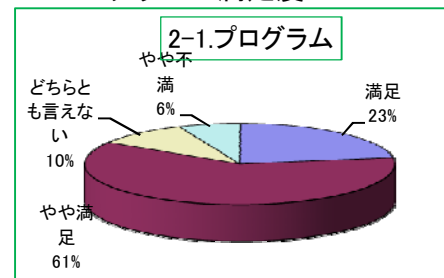
【不満】

- 1) ビギナーに対する配慮が少ない。(プレゼンにおいて)へたな英語ばかり。日本語で。

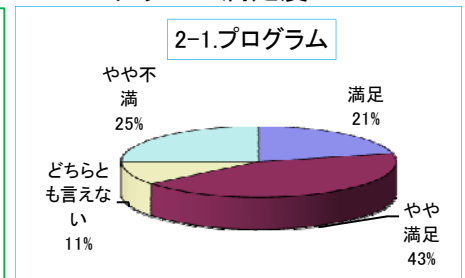
2. プログラムの満足度



2. プログラムの満足度



2. プログラムの満足度



「満足」が40%と大幅に増加したが、「やや満足」は25%と大幅減少し、トータルの満足度としては低下している。

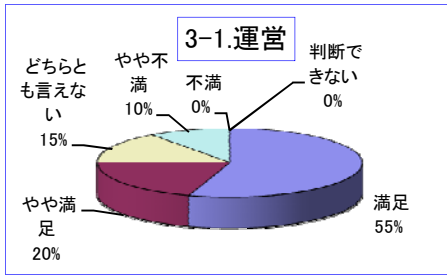
【満足】

- 1) 事例、理論のバランスが良かったと思います。
- 2) 今までの視点と異なる視点での発表を聞いたから
- 3) ビジネス・マネジメント領域の発表をもっと聞きたい。
- 4) 日本創造学会が大変良かった。創造学会との交流ができればTRIZの広がりにつながると思います。

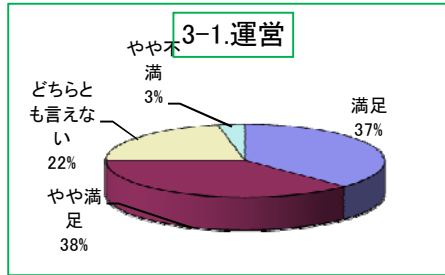
【不満】

- 1) 昨年と同じ内容や、今までのコピー、継続テーマで、内容のうすいもの(改善の少ないもの)などが多数見受けられました。
- 2) 発表時間が短い。論文を絞って時間を十分にとる。
- 3) おそらく、初心者には敷居が高い。初めて来た人がリピーターにならない恐れを感じる。

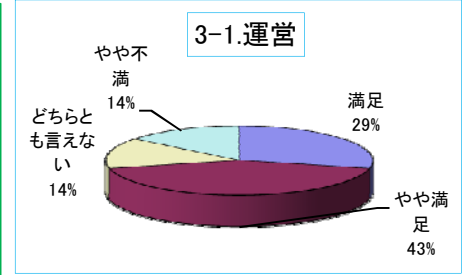
3. 運営



3. 運営



3. 運営



「満足」「やや満足」を合わせて75%で、昨年(72%)、一昨年(80%)とほぼ同レベル。

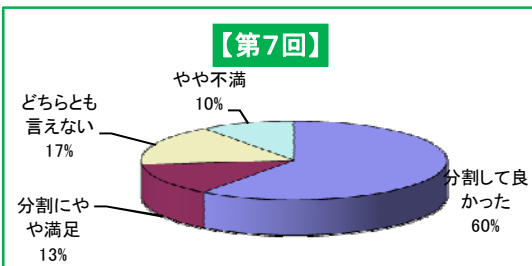
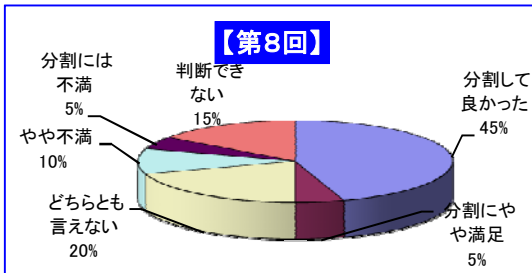
[満足]

- 1) 特に滞りなく、会場の場所もわかりやすかった。
- 2) 論文テキストがUSBとなり、大変良い。特にプログラムからクリックでスライドが開けるところは、とても使いやすい。

[不満]

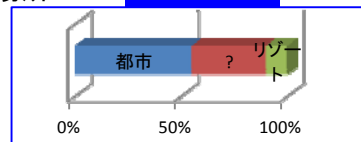
- 1) シンポジウムのHPでの案内が複雑で分かりにくい。
- 2) スライドの表示の段取りが問題です。コーディネータが、PCの中身をあまり理解していないため、時間ロスが多い。
- 3) 紙版プロシーディングは探しづらい。ページをふるか、発表の最初に〇〇ページです！と声をかけてほしい。

3-4 セミナーとシンポジウムに分割したこと

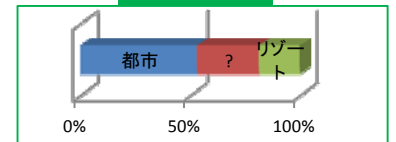


3-5 来年の会場の希望

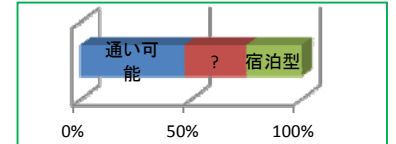
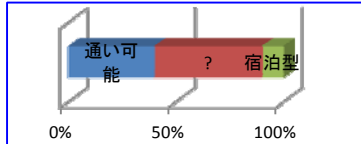
<場所>



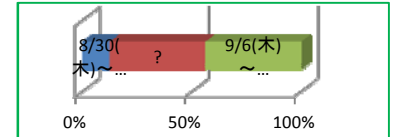
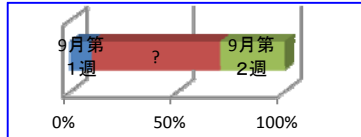
【第7回】



<形態>



<時期>



- ・ 「セミナー(1日目)とコンファレンス(2&3日目)の分割」に対する好評は低下してきている。(73%⇒50%)
- ・ 開催場所・形態は昨年同様、都市部で通える所の要望が多い。
- ・ 日程は9月初旬(第2週)の希望が多い。

4. 協会への要望

- ・ 協会の幹部の若返りを!! 女性が少なすぎる。TRIZはまだお高く留まっている感じ。VE大会を参考に。
- ・ もっと時間を使って、日本のTRIZの未来についてディスカスしたい。
- ・ 「目的-手段」系・「原因-結果」系に各ツールを分けて、TRIZ以外の技法との共通点・相違点・補完性を明らかにしていく継続的活動を期待しています。
- ・ もっとTRIZについての情報発信ができればいいのではないかと考えています。
- ・ 関西でも実施してほしい(3年に1度とか)

たくさんの皆様からの真摯なご意見を賜りありがとうございました。
今後も、ご意見を反映できますよう検討して参ります。